

関東地区協議会

教育再生委員会 事業計画

教育再生委員会 委員長 中井 信之

1 日本人には先達より受け継がれてきた「和の心」があり、その精神性の元これまで様々
2 な困難や時代の変化にも柔軟に対応してきましたが、自国に対して自信と誇りをもつ精神
3 性は、急速に変化を続ける現代においてさらに必要性を増しています。今後、多くの国民
4 が人生を通して様々な場面でグローバリズム、ナショナリズムに関わる機会が増えていく
5 中で、日本人特有のアイデンティティとして重要性を理解し、携えていく必要があります。

6 まずは、幼少世代に対してスポーツを通じてコミュニケーション能力や協調性を養うた
7 めに、J CカップU-11 少年少女全国大会関東地区予選大会を開催し、道徳性をもった
8 人財を育成します。そして、若年世代に対して政策本位による投票行為の重要性を養うた
9 めに、各ブロック協議会及び関東地区内158 LOMに対して「みらいく」の実施状況の
10 調査、分析、連絡を行い、各LOMでの開催を促進いたします。さらに、各LOMがより
11 積極的に「みらいく」を実施できるよう関東地区内の成功事例をもとにセミナー形式の事
12 業を実施し、手法の比較対照を行うことで更なるアイデアを創出し、実施環境にあわせ
13 たアレンジをしていく参考材料を提供いたします。また、青年世代に対しては日本人が先
14 達より受け継がれてきた「和の心」を再認識し、自国に対して自信と誇りをもつために、
15 正確な歴史認識を確立する事業を実施することで、自分なりの理想をもって未来選択に関
16 わる精神性を養います。そして、より正確で客観的な歴史認識を確立するために体験と座
17 学を織り交ぜた事業を実施し、より具体的な理想を掲げることのできる人財を育成します。

18 それぞれの世代に合った教育のもと、日本人特有の精神性とその重要性を理解し、確固
19 たる信念を携え、協調性や融和、利他の精神をもち合わせ、自分事として国や政治と関わ
20 り、時代に則した未来を選択する人財であふれる、変革の原動力となる関東を創造します。

21

22 <事業計画>

- 23 1. 【地区推】J Cカップ U-11 全国大会予選大会の実施
- 24 2. 「みらいく」情報収集及び各LOMに対する開催支援
- 25 3. 明確な歴史認識を養う事業の実施

26

27

28